

令和6年9月定例会発言順番

◆代表質問

1. きょうどう 森岡俊夫議員
9/17 (火) (関連) 米村一三議員

◆各個質問

1. 田口俊介 議員

9/18 (水) 2. 加藤文治 議員

3. 安田共子 議員

4. 吉井 巧 議員

5. 伊藤康弘 議員

9/19 (木) 6. 荒井秀行 議員

7. 松本晶彦 議員

8. 景山 憲 議員

9. 足田法行 議員

境港市議会議長様



境港市議会議員 森岡俊夫

発言通告書

次のとおり通告します。

令和6年9月5日	会派「きょうどう」代表質問
発言の種別	質疑・ <u>代表質問</u> （関連質問）・各個質問【一問一答・一括】・討論
発言事項	要旨
1, 1期目4年間を振り返って	<p>①2期目の選挙が無投票であったということ、伊達市長は、どのように感じておられるのでしょうか。所感を伺う。</p> <p>②東京一極集中問題に対する市長の所見を伺う。</p> <p>③1期目公約で掲げられた8つの取組について、その公約の達成感などご自身で全般的にどのように評価されているのでしょうか。</p> <p>市長の1期目はコロナ禍真っ只中での就任で難しいかじ取りを強いられたのではと考えるが、達成できた政策・達成できなかったと思われるもしくは、まだまだ道半ばでこれから成果が期待できそうな政策など具体的にどのようにお考えなのか伺う。（以下の視点に対してご答弁下さい）</p>
誰もが安心して暮らせる「 <u>支え合い</u> 」の政策について	<p>①超高齢化社会に対する政策について</p> <p>②人口減少・子育て支援に対する政策について</p> <p>③空き家対策について（米村議員より関連質問）</p> <p>④共生社会の実現について</p>
「さかな」「鬼太郎」「港」を活かした産業振興について	<p>①任期中に「高度衛生管理型漁港」がほぼ完成し、「水木しげる記念館」がリニューアルされるなど産業・観光振興のためのインフラが整備されたが、1期目の総括と2期目での産業・観光振興策について具体策を伺う。</p> <p>②中海・宍道湖・大山圏域懸案の米子・境港間の高規格道路の現在の状況について伺う。</p> <p>③国において実施されている重要港湾「事業化検証調査」の状況も含め、港湾整備に対するご自身の評</p>

<p>地域を担う人材育成のための人づくりについて</p>	<p>価を伺う。</p> <p>①少子化が進む中、校舎の老朽化のため、令和5年から庁内ワーキングチームで小中学校の再編について、協議されているが、その内容や結論を出す時期、小中学校再編整備の最終期限をいつまでと設定されているのか。(米村議員より関連質問)</p> <p>②毎年行われる全国学力・学習状況調査結果は、極めて厳しい結果と受けとめざるを得ないが、教育長は、どのようにお考えか。私は、小中学校再編という大きな変換点^転が、学力向上に向けての体制に結び付ける良いきっかけにすべきではないかと考える。そして、教育委員会は、建屋などの器の問題だけでなく、子どもたちに最適な学習環境とはどういうものかなど真剣に考えていただきたい。教育長の所見を伺う。</p>
<p>快適な生活環境づくりについて</p>	<p>①本市中央部に広がる手つかずの耕作放棄地・荒廃農地の環境整備は、待ったなしの重要な問題と考える。先送りすればするほど、費用面も膨らむし、生活環境にも悪影響を及ぼしている。1期目の市長公約で、新しい工業団地に向けた取り組みを標榜していたが、現在の法制度で解決しないのであれば、県や国に対して法改正など訴えられたのでしょうか。市としての具体的な取り組みをお示し下さい。(米村議員より関連質問)</p>
<p>防災対策について</p>	<p>① 原子力災害避難訓練をはじめ、防災訓練については、障がい者や高齢者など避難困難当事者にも実際に参加してもらうことを考えてはどうか</p>
<p>2, 2期目の公約について</p>	
<p>誠実な行政運営について</p>	<p>① 2期目の市長公約に、小中学校の再編と市庁舎の建て替えを掲げておられるが、いずれの投資も本市財政にとっては、非常に大きな課題と言える。優先順位の考え方やその投資額、また、計画策定から完成までの期限をどれくらいと想定されておられるのか。(米村議員より関連質問)</p>
<p>地域公共交通の構築について</p>	<p>② 8月25日に行った「市民と議会の懇談会」のテーマとして、「地域公共交通」を取り上げたところ、市民の関心も高く、グループ別のディスカッションでも活発な意見が出され、「地域公共交通の問題点」が浮き彫りになった。オンデマンドバスの実証実験が来年1月~3月までの3か月間と短い期間で行われることに加え4月から、はまる一歩バスを廃止するということに対して、市民から反発を受けるのではないかと心配だ。市長の見解を伺う。(米村議員より関連質問)</p>

境港市議会議長様

発言通告書

次のとおり通告します。



境港市議会議員 米村 一三

令和6年9月6日	
質疑・代表質問・○関連質問・各個質問【一問一答・一括】・討論	
発言事項	
1、伊達市政2期目の 重点方針について	1) 小中学校の再編について 【地域を担う人材育成のための人づくりについて】の関連質問 ○近年の出生数から見て、中学校1校体制が適切では 2) 庁舎建て替えについて 【誠実な行政運営について】の関連質問 ○建設場所の想定について ○日常業務を行う市職員への設備・機能についての十分なヒアリングを ○新設した市民交流センターの使い勝手についての調査を ○福利厚生施設の充実を 3) 地域公共交通の構築について 【地域公共交通の構築について】の関連質問 ○新方式が決定した際には、市民への十分な情報提供を
2、伊達市政2期目にも取り組みを 強化すべき施策について	1) 荒廃農地の利活用について 【快適な生活環境づくりについて】の関連質問 ○早生樹の育成状況について ○荒廃農地の工業用地への転換を ○農地への再生への助成額の大幅な引き上や新たな賦課金制度の検討を 2) 空家対策について 【誰もが安心して暮らせる「支え愛」の政策について】の関連質問 ○相続放棄によって空き家が放置された場合の対応について

<p>2. 不登校児童生徒に寄り添う施策について</p> <p>(1) 校内教育支援センターについて</p> <p>(2) フリースクールについて</p>	<p>① 文科省は来年度、不登校対策（COCOLO プラン）に基づく「校内教育支援センター」について、設置促進と支援員配置に関する予算措置などの方針を決定との報道があった。この度の文科省の方針について、県と本市教育委員会での受け止めは。また、本市小中学校での校内教育支援センターに関する状況は。</p> <p>① 本年 3 月議会で市内でのフリースクール開校についてとりあげ、利用者に対する補助制度の創設について令和元年 12 月議会に引き続き提案したところ、「今回市内に開校するフリースクールが県の認定を受けた際に検討したい」との答弁であった。この度 8 月 20 日付で当該フリースクールが県の認定校になったとのこと。利用者の補助制度創設へ踏み出していただけると考えるが、現在の検討状況は。</p>
<p>3. 難聴者支援の更なる充実について</p> <p>(1) 本市における「聞こえの総合支援」について</p> <p>(2) 軟骨伝導イヤホン導入について</p>	<p>① 軽度難聴者への補聴器購入補助やヒアリングフレイル対策としての聞こえの相談会など、本市における「聞こえの総合支援」の取り組みについて、現状の成果と課題は。</p> <p>① 公的機関の窓口で「軟骨伝導イヤホン」を導入する自治体が増えている。軟骨伝導イヤホンは、従来の骨伝導より痛みや音漏れが少ないといった利点に加え、価格は 1 台約 2 万円と安価で取り扱いやすいのも導入をきめてとなっている。高齢化が進む中、窓口業務の時間短縮も見込めるため、本市でも、軟骨伝導イヤホンの導入を考えていくべきではと思うが、所見を。</p>

境港市議会議長

永井 章 様



境港市議会議員

加藤 文 治

発 言 通 告 書

次のとおり通告します。

令和6年9月9日	会派：自由未来
発 言 の 種 別	質 疑 ・ 代 表 質 問 （ 関 連 質 問 ） ・ 各 個 質 問 【 一 問 一 答 ・ 一 括 】 ・ 討 論
発 言 事 項	要 旨
1.発泡スチロール魚箱について	本市では令和4年度より脱酸素先行地域づくり事業を推進し2030年度までの公共施設等の電力消費に伴う二酸化炭素の排出・実質ゼロを目指しています。国・県に対して発泡スチロール魚箱のリユースが出来るよう働きかけが出来ないかと思えます。また、リユース事業が出来れば新たな雇用が創出できると思えますが市長の見解を伺います。
2.SEA級グルメ全国大会について	11月9日、10日に行われるSea級グルメ全国大会を成功に導くためにどのような取り組みをされるのか、市長の見解を伺います。
3.歴史教科書について	公立学校で使用される教科書については、採択権者は教育委員会にあるようです。公立学校で使用される歴史教科書については幅広く市民の意見を取り入れ採択できないかと思えます。教育長の見解を伺います。

4, 特定利用空港・港湾について	政府は8月26日に、新たに3空港9港湾を防衛目的での利用整備を可能とする「特定利用空港・港湾」に位置付けられたが、境港市は入っていません。政府からの打診があった時には速やかに要望に応える考えがあるのか市長の見解を伺います。
5.市庁舎の建て替えについて	市長は建て替えありきで計画を進めようとされているのではないですか、建て替えと大規模改修の費用対効果を検証し、大規模修繕工事をして長く使用する考えは持って居られないのでしょうか？市長の見解を伺います。



発言通告書

次のとおり通告します。

令和6年9月9日	
発言の種別	質疑・代表質問（関連質問）・ <u>各個質問</u> 【 <u>一問一答</u> ・一括】・討論
発言事項	市長 要 旨
1) 原子力防災、原発の安全対策、核燃料サイクルについて	<p>① 6月議会答弁で資料は「もしもの時に落ち着いて行動できる市民を増やしていかないと、避難計画は実行性が低いままだと思う」と言われたのはその通りだ。安定ヨウ素剤の事前配布率も少ない。避難計画、原子力防災を市民に知ってもらう、また、安定ヨウ素剤を少なくとも子どもたちにはより多く事前配布で受け取ってもらうためには、どうすれば良いと考えているか。</p> <p>② 4月に続き、9月7日にも島根原発2号機構内で火災があった。1月には死亡事故もあった。度重なる事故についてどのように見ているか。</p> <p>③ 日本原燃の再処理工場が27回目の完成延期を決めた。本市として、破綻した核燃料サイクルからの撤退を決意し、国に対して、「再処理工場は廃止し、使用済み核燃料の処分的手段・方法の結論が出るまでは、政府の責任で厳重な管理をおこない、原発を動かすためではなく、使用済み燃料処分のための研究・開発を進めること」を求める時だと思うがどうか。</p>
2) 地域公共交通、AI活用型オンデマンドバス実証運行事業について	<p>① 同事業、はまる一歩バス運行終了について、報道や市の説明を受けた市民、利用者の方々から、不満や疑問の声をいただいた。「定時運行のバスがなくなり時間通りに来ず、その後の予定の時間に遅れたりすると困る」「急に必要になっても1時間待ちとかになったら困る」「電話もネットもできない人、場合はどうすれば良いか」「車いすのまま乗車できないのか」「結局バス停に行かないといけないなら（ドア to ドアじゃないなら）利用できない」という具体的な意見や疑問に対しては、どのように解決を図るのか。</p> <p>② 予定通りの新車購入ができない状況を受け、いったん、この事業を白紙に戻すことも当然検討が必要ではないか。もともと3月当初予算では、「一般財源でワゴンタイプの車両を2台リースで導入し、AI デマンド交通の効果や課題を整理する」とされていたので、そこにいったん戻ることはできないのか。</p> <p>③ また、国の補助金の採択を受けており、これを辞退した場合ペナルティなく次年度以降も申請できるのか、当初予算通りリースするにしてもワゴン車2台の確保が可能なのか、受け付け開始しているシステム構築業務受託事業者の募集も白紙に戻せるのかななどの疑問にもお答えを。</p>



境港市議会議長 殿

発 言 通 告 書

境港市議会議員 吉井 巧

次のとおり通告します。

令和 6年9月9日	受領 NO.
発 言 の 種 別	質疑 ・ 代表質問 (関連質問) ・ 各個質問 【 一問一答 ・ 一活 】 ・ 討論
発 言 事 項	要 旨
1. 地域公共交通の構築について	(質問1) 本年度ではまるーぶバスを廃止し、来年度からAIデマンドバスに移行する判断について、利用者の声を十分に聴いての判断であると言い切れますか。市長の見解を伺います。
2. 防災対策について	(質問1) 境港市3D都市モデルではどのようなシミュレーションが可能で、どのように活用しているのか伺います。 (質問2) 境港市3D都市モデルの活用方法として、防災シミュレーション以外での活用を視野に入れておられるか、伺います。 (質問3) プール授業が市民温水プールに完全移行なり、各小中学校のプールを解体することになった場合、各地域の防火水槽であるプールの役割を補える体制は整っているか、伺います。



境港市議会 議長 永井章様

発 言 通 告 書

境港市議会議員

伊藤康弘

次のとおり通告します。

令和6年9月9日	受領 NO.
発 言 の 種 別	質 疑 ・ 代 表 質 問 (関 連 質 問) ・ 各 個 質 問 【 一 問 一 答 ・ 一 括 】 ・ 討 論
発 言 事 項	要 旨
1.市内の道路管理について	(質問1)本市での道路管理体制についての現況をお聞かせください。 (質問2)LINE公式アカウントを活用した通報の取り組みについて本市の考えをお聞かせください。
2.予防接種について	(質問1)本市での予防接種健康被害救済制度の周知の現況についてお聞かせください。

6.9.-9

境港市議会

発言通告書

次のとおり通告します。

令和 6年 9月 9日	No.1
発 言 の 種 別	発 言 の 種 別 質 疑 ・ 代 表 質 問 (関 連 質 問) ・ 各 個 質 問 (一 問 一 答 ・ 一 括) ・ 討 論
発 言 事 項	要 旨
所信表明より(1期目の公約より)	伊達市政の今後4年間取り組む事業についての質問
1、市民とともに「協働」「共生」「笑顔」をキーワードにしたまちづくりについて	(質問1) 市長の考える「共生社会」とは具体的にどんな社会であるかを伺う。
2、子育て支援、人口減少対策について	「子育てするなら境港」を目標に掲げ、切れ目のない総合的な支援の充実をめざす。 (質問1) 保育環境・保育サービスの充実について、「こども誰でも通園制度」の内容について伺う。
3、「支え愛」による超高齢化社会について	本市は、健康寿命の延伸に向けて、「栄養・運動・社会参加」を三本柱とするフレイル予防に取り組んでいる。 (質問1) 食育SATシステムとは具体的にどのようなものかを伺う。
4、「さかな」「鬼太郎」「港」を活かしたまちづくりにつて	境漁港は日本海側随一の漁港として、ますます存在感が高まっています。その一方で、漁獲制限など資源管理への対応、加工施設・冷凍冷蔵設備等による陸上の処理能力低下など、課題がある。 (質問1) それ以外に課題があるとしたら、何に取り組む必要があると考えているか伺う。
(4-1)境漁港の課題は何か	
(4-2)空の玄関・海の玄関のアウトバウンドの効果は	また、「インバウンド」が本格化するなか、「空の道」と「海の道」を有効に活用しながら、更なる誘客を図りながら、アウトバウンドの利用促進に取り組むとある。 (質問2) アウトバウンドの促進が本市に何の利をもたらすか伺う。
5、大切な海を守る環境づくりや空き家など生活環境対策について	海に拓けた本市は、豊かな海の恵みと港とともに発展してきた。私たちはこの大切な海を守り、次世代に引き継がなければならない。
(5-1)海の環境を守るための取り組み	海の環境を守るため藻場の保全・造成によるブルーカーボンの創出により持続可能な脱炭素社会に向けての取り組むとある。 (質問1) この事によってどのような成果があり、今後どのような目標と予算規模で進めるのか伺う。 また、この事業と連動する仕組みにより、成果を数値化するなどは考えてこなかったか伺う。

令和 6年 9月 9日	No.2
発言の種別	発言の種別 質疑・代表質問（関連質問）・ <u>各個質問</u> 【一問一答】・一括】・討論
発言事項	要 旨
<p>(5-2)空き家対策について</p> <p>…空き家対策の成果</p> <p>…除却支援金申請時に狭隘道路とセット</p> <p>…公共下水道</p> <p>…雨水管理総合計画</p>	<p>空き家対策は、令和3年度から相談窓口を設けて、空き家の利活用に対する補助金創設し、当市は空き家対策に取り組んだ。</p> <p>(質問2) <u>空き家対策による現在までの成果と自治会や不動産業者・建設業者などの連携とあるが、どのような連携をしているのか伺う。</u></p> <p>増加する空き家と狭あい道路対策をセットして取り組むと有効であると考える。 空き家除却支援事業補助金の申請時にセットバックを条件として沿道に空き家が複数発生した段階で狭隘道路の路線設定を協議して沿線の道路も拡幅する方法</p> <p>(質問3) <u>この空き家除却と狭あい道路対策を同時に進める方法について、市長の見解を伺う。</u></p> <p>高齢化が進み、空き家が増加する中で取り組んでいる公共下水道の整備についての質問。 (質問4) <u>空き家が多い地区で集合処理をする下水道整備による事業のB/C費用対効果について伺う。</u> 又、この事業の投資は、最終的に下水道料金に影響する。米子市の例を踏まえて、本市の下水道整備方針はこのままで良いか伺う。</p> <p>「雨水管理総合計画」に基づく内水ハザードマップの作製や雨水幹線整備などハード・ソフトの両面から総合的・計画的な浸水対策に取り組んでいる。 (質問5) <u>この浸水対策事業は、いつまでに何を実行するのか伺う。</u></p>
<p>6、中海・宍道湖・大山圏域の高規格道路網の早期実現について</p>	<p>この事業は国県の事業で、本市は要望活動をこの圏域の市町村と連携して要望活動を進めている。 凍結が解除となれば具体的に市内の道路ネットワークについて検討が必要。</p> <p>(質問1) <u>今後、市内の高規格道路ネットワークについては、今から考えておかなければならないと思う。財源も含めてどのように考えておられるか伺う。</u></p>
<p>7、未来にツケを回さない行財政運営について</p> <p>…今後の財政運営は如何に</p>	<p>本市は、これまで行財政改革と規律ある財政運営に努めてきた。しかし、今後少子高齢化が進展し社会保障関係経費が増加。今後、行政コストの削減と産業振興等により自主財源の確保や基金積み立てを継続し、未来にツケをまわさない行財政運営を行う。</p> <p>(質問1) <u>具体的に、財政運営をどう進められるのか、又どちらの方針で、具体的にどのような計画を持っているのか伺う。</u></p>

令和 6年 9月 9日	No.3
発 言 の 種 別	発 言 の 種 別 質 疑 ・ 代 表 質 問 (関 連 質 問) ・ 各 個 質 問 【 一 問 一 答 ・ 一 括 】 ・ 討 論
発 言 事 項	要 旨
<p>8、新型コロナウイルス感染症について</p>	<p>新型コロナウイルスについては、重症リスクの高い65歳以上の方と60歳から64歳間での一定の基礎疾患を有する方を対象に接種費用の助成を行うとある。 (質問1) 今後、治療薬の助成等も必要と思うが、市長の見解を伺う。</p> <p>次に、二期目の新規の公約について質問します</p>
<p>9、小学校の再編について …ワーキングチームの再編のスケジュールは …15人学級制度は …財源と統合による各地区の社会関係資本は</p>	<p>出生率の減少が続いている。境港市では15年後小学校1校で児童数が6学年で180人を下回ることが予想される。現在、校舎も老朽化し、小中学校の再編と校舎の建替えは、喫緊の課題である。 (質問1) ワーキングチームで再編計画をまとめるスケジュールについて伺う。</p> <p>児童数が少なく6校体制で1学年30人でクラスが出来ない。30人⇒15人学級 (質問2) 15人学級制について教育長の見解を伺う。</p> <p>(質問3) 再編をするにあたっての財源と6地区に1校ある小学校、各地区において構築されてきた社会関係資本(ソーシャルキャピタル)にどのような対応を考えているのか市長・教育長に伺う。</p>
<p>10、市庁舎の建替えについて</p>	<p>本市の市庁舎は、これまで耐震補強工事や設備改修工事行ってきたが、(築)63年が経過し老朽化が進んでいる。庁内でワーキングチームを立ち上げ検討をしている。 (質問1) ワーキングチームの検討スケジュールとその財源をどのように考えているか伺う。</p>
<p>11、地域公共交通の構築について …地域公共交通計画の策定</p>	<p>本市は、「はまループバス」をやめ、AIを活用したオンデマンドバスを導入する。しかしAIに学習させるには相当量のデータが必要。そうでないと、あらゆるケースに対応が出来ないと思う。 (質問1) 例えば、1人の行動パターンを1として何ケースくらいのサンプルを考えているのか伺う。</p> <p>(質問2) AIオンデマンドバスを導入にあたり「地域公共交通計画の策定」が必要となるが、そのスケジュールとどのようなプロセスで進めるのか伺う。</p>



境港市議会議長 殿

発 言 通 告 書

境港市議会議員 松本 晶彦

次のとおり通告します。

令和 6年 9月 9日	受領 NO.
発 言 の 種 別	質 疑 ・ 代 表 質 問 (関 連 質 問) ・ 各 個 質 問 【 一 問 一 答 ・ 一 活 】 ・ 討 論
発 言 事 項	要 旨
1.子育て支援・人口減少対策について	1.保育士・保健師の人材確保について伺う
2.市庁舎建て替えについて	2.市庁舎と保健相談センターの導線について伺う
3.防災対策について	3.消防団にドローン部隊の創設を



境港市議会議長 殿

2024年9月9日
境港市議会議員 景山 憲

発 言 通 告 書

次のとおり通告します。

発 言 の 種 別	・代表質問 ・質疑 ・関連質問 ・各個質問（一問一答） ・討論
発 言 事 項	要 旨
1・浸水対策に ^向 けての具体的な河川改修等また雨水幹線に繋ぐ側溝改修促進について	1・八幡川、才仏川、釜池川等出来る限り早期の改修が必要、周辺に床上浸水、床下浸水が発生した川及び周辺の地区について具体的に、計画、改修が進行するのか伺う。 2・今後、改修が必要と見込まれる側溝は何キロ程度、どのように進行するのか見通しを伺う。 3・技術職員は不足していませんか、現状と人材確保等対応を伺う。
2・現場作業にあたる職員の夏場の安全対策について	1・本市職員とりわけ、家庭訪問、草刈り、道路保全、見回り、点検等現場作業、ゴミ収集、廃棄物収集等の業務を担うにあたって、対応マニュアル等定められているのか伺う 2・暑さに対応した作業用着衣等の対策はどの様になっているのか、備品として整備されているのか、職員の安全確保について伺う。
4・子育て支援・人口減少対策について	1・経済界との連携の態勢づくりや専任職員が活動できる態勢づくりはどの様に図っていくのか伺う。

境港市議会議長様



境港市議会議員 足田 法行 印

発言通告書

次のとおり通告します。

令和6年 9月 9日	
発言の種別	各個質問 一問一答
発言事項	要 旨
1. 介護・認知症における地域共生社会の推進について	<p>① ビジネスケアラー（仕事をしながら家族を支援する人々）の支援について一、家事支援サービスの導入モデル事業を始まっていて、国が3分の2を補助するもので、すでに440以上の中小企業が導入している。商工会議所など関係機関と連携してビジネスケアラーの支援に取り組むべきでは。</p> <p>② 認知症支援について一認知症事前登録について、外出中に道に迷う等のおそれがある高齢者や障がい者の方を事前に登録し、その情報を警察と共有することで、行方不明時に早期発見・保護できるよう支援しているが、対象者の把握の状況と申込み登録数について問う。</p> <p>③ 認知症対策として地域におけるユマニチュード推進について一ケア相手と良好な関係を築き、介護負担軽減につながるユマニチュードを市民講座として、地域社会に広めていただきたいと思います。ご所見を伺う。</p>

<p>2. 視覚障がい者の支援について</p> <p>3. 能登半島地震を踏まえた防災基本計画と女性の視点から見た防災について</p>	<p>① 視覚障がい者の支援について一視覚障がい者の方々からの、自立歩行訓練・リハビリテーション、情報機器の扱いなど充実の要望について伺う。</p> <p>① 災害時の避難所における環境整備について一本市の災害応急対策の「福祉的な支援」および「トイレトレーラー、トイレカー」を含む、保健衛生環境の整備について本市の取組みについて伺う。</p> <p>② 女性の視点から見た防災について一本市の防災・危機管理部局に女性職員の配置はどうなっているのか。また女性や子ども、高齢者が必要とされている備蓄用品の状況について伺う。</p>
---	---